

07

校種・教科等	高校・公民 (政治・経済)	受審番号		氏名	
--------	------------------	------	--	----	--

『公民科（政治・経済）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)
- (2) 場 所 3年1組教室
- (3) 学年・学級 第3学年1組(35名) 使用教科書『高等学校 政治・経済』(清水書院)

- (4) 単 元 名 大項目B グローバル化する国際社会の課題
 (1)現代の国際政治・国際経済 「相互依存関係が深まる国際経済の特質」

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

1年次に「歴史総合」、「地理総合」、2年次に「公共」を履修しており、選択・判断の手掛かりとなる考え方など基本的な事項は、一定理解している。

【単元のねらい】

- ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。
- ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現する。

【生徒の状況】

- ・3年次では、「倫理」または「政治・経済」のいずれかを選択することになっており、「政治・経済」選択者は全員が大学入学共通テストで「政治・経済」を受験する予定である。
- ・年度当初の授業アンケートで、「議論を交わし、自分の考えを説明したり、論述したりすることが苦手」と回答した生徒が約2割いるが、取り組むことができている。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	【貿易の現状と意義】 ・現在の世界及び日本の貿易の現状と動向について、具体的事例や客観的な諸資料をもとに理解を深める。	一斉 個別 ペア	知識・技能
	・比較優位の考え方に基づく自由貿易論と保護貿易論を対比させながら、現代の貿易の現状や貿易問題と関連させて理解する。 教科書P206～207(本時)	一斉 個別 グループ	知識・技能
第二次 (2時間)	【為替相場の変動】 ・為替相場が変動する要因や影響について考察し、表現する。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現
	【国民経済と国際収支】 ・国際収支に関する統計資料を読み取り、日本の国際収支の特徴を理解する。 ・国民経済の動向が国際収支の動向と関連していることや国際収支の不均衡が貿易摩擦の一因となっていることを理解する。	一斉 個別 ペア	知識・技能
第三次 (1時間)	【単元のまとめ】 ・国民経済と国際経済の関係において、国益と地球規模での協調が求められていることについて議論し、相互依存関係が深まる国際経済の特質について、考察し、表現する。	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・表現

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	高校・公民 (倫理)	受審番号		氏名	
--------	---------------	------	--	----	--

『公民科（倫理）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 3年B組教室
 (3) 学年・学級 第3学年B組(16名) 使用教科書 『倫理』(東京書籍)p34～36

(4) 単元名 ギリシャの思想

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・生徒全員が1年次に「歴史総合」「地理総合」、2年次に「公共」を履修し、思想家の名前や基本的事項については一部学習している。

【単元のねらい】

・幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解する。

・自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察・表現する。

・現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする。

【生徒の状況】

・授業者の話をよく聴き、授業態度も良く、定期考査では、基礎・基本的な事項・事柄を問う問題の正答率が高い。

・グループ学習などには積極的に取り組めるが、習得している知識や諸資料を活用して考察したり、根拠をもって主張したりする経験をあまりしていない。

・先哲の思想を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について自己の課題を結び付けて考えることにあまり慣れていない。

(6) 指導計画(全8時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (3時間)	・単元課題 『「世界は何からできていて、そこでは何が大事なのか」について、古代ギリシャの哲学者の考えに触れつつ、あなたの考えを述べなさい。』 ・万物の根源についてグループで考察する。	一斉 グループ	知識・技能
	・自然哲学者とソフィストについて理解する。 ・相対主義の長所・短所を個人で、その後、グループで考察する。 ・ソクラテスの対話について、理解する。	一斉 個別 グループ	思考・判断・ 表現
	・ソクラテスのことばや行動から、ソクラテスの思想をまとめる。 ・ペアで相互に発表しあい、内容を修正してペアチェンジ。全体で共有する。	個別 ペア①・ペア②	知識・技能
第二次 (3時間)	・プラトンの洞窟の比喻について理解する。 ・イデア論・哲人政治について、問題と思う点や不足な点を個人で考察する。 ・プラトンの思想のうち、現在の生活に生かせる部分を、グループで挙げる。 教科書p34～36 (本時)	一斉 個人 グループ	思考・判断・ 表現
	・アリストテレスの自然観について理解し、エイダスとヒュレーの具体的事例をグループで考え、発表する。 ・アリストテレスの徳について、理解する。	グループ 一斉	知識・技能
	・ヘレニズム哲学について、ペア①で禁欲主義と快楽主義を分担し、個人でまとめ、同じ主義のペア②で加筆。修正し、ペア①で相手に説明する。 ・ローマ時代の思想について理解する。	個別 ペア 一斉	知識・技能
第三次 (2時間)	・ギリシャ哲学者たちが大事だと考えたことについて、グループで協議し、まとめる。 ・何から世界ができていて、これまでの学習から、誰がどのように考えたのかを個人でまとめる。	グループ 個別	思考・判断・ 表現、主体的 に学習に取り 組む態度
	・単元課題について、個人で取り組む。 『「世界は何からできていて、そこでは何が大事なのか」について、古代ギリシャの哲学者の考えに触れつつ、あなたの考えを述べなさい。』	個別	主体的に学 習に取り組む 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。